



「Meguri」

ゴールした。
そして、中林さんが次に挑んだのが「夢をシェアできる場所。人と人を

「自分は夢を語ることはできない。でも、周りには小倉社長をはじめ、プロフェッショナルな方がいるので、そのコネクションを活用して夢の実現を手助けしたい」
営業時間は正午～午後4時、午後8時～同1時。木曜日定休。

旭区 魔女っ子が街巡り 千林商店街ハロウィン



仮装して商店街を巡り歩く参加者ら

仮装パレードやゲームなどを通じ、商店街に親しんでもらおうと10月27日、旭区の千林商店街で「第6回せんばやしハロウィンパティー」が開かれ、商店街は仮装した「魔女や「お姫様」などにぎわった。

「チャリティハロウィン仮装パレード」は350人が参加。「トリック・オア・トリート」(お菓子をくれなきゃいたずらするぞ)の合言葉を言い、薬局や文具店などの軒先で店員からお菓子をもらって歩いた。



河川敷ではメモリアルイベントが開かれ、鉄橋に別れを惜しんだ

旭区 さよなら

淀川をまたぎ旭区と東淀川区を支えた城東貨物線の人道橋、赤川鉄橋(長約600m)が10月いっぱい使用されたことにちなんだメモリアルイベント「よなら赤川鉄橋」(旭区役所主催)が26日、同区赤川4丁目の淀川で開かれた。区民や鉄道ファンら約300人が参加し、長年親しんだ橋との別れを惜しんだ。この日は約80年以上区民の足がかりとなってきた同橋に感謝しようと、区民

猫、魔女、ドラキュラなどの仮装をし、7人で門真市から訪れた家族連れは「地元ではこういったイベントがないので来た。子どもたちも喜んで

いる」と笑顔。靴店「シューメイト花幸」の今西幸之助さんは「商売抜きで楽しさがあっていい」と話していた。

守口市

寄席と「じゃんけん大会」 11月16日京阪商店街

京阪商店街振興組合は

2回。

また、障がい者福祉サービス事業者を運営するNPO法人「ダ・カーポ」が主催する「じゃんけん大会」を開催する。



イベントでにぎわう商店街

また、「わくわくウィーク」(11月11日～17日)の第3週間は加盟店が発行したレシート・領収書の合計金額2000円分以上を一口に3000円の割引券が50人に当たるキャンペーンを実施する。
問い合わせは電06(6991)5422、同組合へ。

導士

森兼 涼子さん

Creer(クレエ) 都島区都島北通2



「ネイルで明るくなってもらって、おしゃべりの時間も楽しめて」と仕事が楽しくてしかたがない様子。70代の女性も来店し、施術中もいろんな話を聞かせてもらって、ダイエットや美に関する話には大いに盛り上がるという、気取らない性格がうかがえる。
「髪の毛もネイルも、キレイになってお客様が楽しんでいただけるサロンです。」とサロンのPRも忘れない。(浜)

都島区

「平穏死」をテーマに講演 「愛の家大阪都島中通」



「胃ろうや抗がん剤治療をいつまで続けるのか」など、「平穏死」と認知症をテーマに在宅医師として700人以上の患者と関わった尼崎市の「長尾クリニック」長尾和宏院長の講演会Ⅱ写真Ⅱがこのほど、都島区都島中通2の介護施設「愛の家大阪都島中通」で開かれた。参加したのは同区の家族介護の会員や近隣住民、介護事業関係者など。長尾さんは「胃ろう」のケアは日本だけでなく、病院で最期を迎えるようになった経緯、認知症のメカニズムなどを

患者と関わった尼崎市の「長尾クリニック」長尾和宏院長の講演会Ⅱ写真Ⅱがこのほど、都島区都島中通2の介護施設「愛の家大阪都島中通」で開かれた。参加したのは同区の家族介護の会員や近隣住民、介護事業関係者など。長尾さんは「胃ろう」のケアは日本だけでなく、病院で最期を迎えるようになった経緯、認知症のメカニズムなどを

解説した。また「食べられること、移動できること、何がより重要で、自宅のような生活の場」であるグループホームは今、もっとも平穏死に向けた施設」と話した。認知症に対するケアについては「一番不安なのは本人。介護者が関わることで精神的な安定や心地よさを感じてもらえたら成功」と説いた。同グループホームでは、介護家族の相談所として毎週月曜日に「八重桜カフェ」を開設している。